



【新編水滸記】の一場面。左にたつ信繁(幸村)と昌幸(中央)の後ろに穴ノ小助と海野六郎がひかえている。

第一次上田合戦

天正13年(1585)8月、7000人余の徳川軍が上田城へと攻め入った。昌幸が沼田領引渡しを拒否し、家康と断交したためである。対する真田軍は2000人足らず。しかし昌幸は巧みな戦術で徳川軍を撃退してしまう。神川合戦ともよばれるこの戦いが、真田氏と上田城の名を天下に広く知らしめた。

第二次上田合戦

昌幸父子が相分かれて戦うことになった関ヶ原合戦の前哨戦。慶長5年(1600)9月、西軍(石田方)についた昌幸と信繁(幸村)は上田城にたてこもり、中山道を西進する徳川秀忠軍と戦った。3万8000人の徳川軍に対し、真田軍はわずかに2500人。軍勢力の差をもとめず、またしても徳川軍に大きな損害を与えた。

上田城 略年表

- 天文10年(1541) 「海野野の合戦」に敗れた真田幸隆は、上田の地を追われる。
- 天文16年(1547) 幸隆の三男・昌幸が誕生。
- 天文20年(1551) 幸隆、紙石城を攻略し、再び上田の地へ。
- 天正 3年(1575) 「長篠の戦い」で二人の兄が戦死。昌幸が真田家を継ぐ。
- 天正11年(1583) 昌幸、上田城を築城。
- 天正13年(1585) **第一次上田合戦。**
- 慶長 5年(1600) **第二次上田合戦。**「関ヶ原の合戦」後、上田城が徳川方に接収される。
- 慶長 6年(1601) 徳川軍により上田城破却。
- 元和 8年(1622) 信之、松代へ移封。小幡より仙石忠政入封。
- 寛永 3年(1626) 忠政、上田城修築工事に着手。
- 宝永 3年(1706) 仙石政明、但馬国(兵庫県)出石の松平忠周と所領交代となる。
- 明治 4年(1871) 廃藩後、国に接収され東京鎮台第二分営の管理下となる。
- 明治 7年(1874) 前年の分営廃止に伴い、上田城が民間に払い下げとなり廃城。
- 明治11年(1878) 櫓2基が太郎山麓の上田遊廓に移建される。
- 明治13年(1880) 本丸跡を公園にしよとの声が起こる。
- 明治29年(1896) 公園として体裁が整う。
- 昭和 4年(1929) 本丸に残っていた西櫓を徴古館(博物館)として一般公開。
- 昭和 9年(1934) 本丸と二の丸が国の史跡に指定される。
- 昭和17年(1942) 上田城跡保存会により櫓2基が買い戻される。
- 昭和24年(1949) 南櫓、北櫓が落成。
- 昭和34年(1959) 本丸の櫓3基が県室に指定される。
- 昭和56年(1981) 櫓3基の修復工事が始まる(1987年に完了)。
- 二の丸堀跡にけやき並木遊歩道が完成。
- 平成 6年(1994) 本丸東虎口櫓門の復元。

払い下げが進む本丸東虎口(明治11年頃と推定)



六波羅院(上田市立博物館所蔵)

上田城跡公園を楽しく散策

園内には、実は見どころが盛りだくさん。ゆっくりと散策をお楽しみください。

- 1** **上田泥流層(上)と河床礫層**
尼ヶ淵の要害をつくる特徴的な地層です。
- 2** **真田神社下の算木積み**
崖面に古い算木積みを用いた石垣が残っています。なぜここに石垣が積まれたのかは上田城の謎のひとつ。
- 3** **堀石垣の水抜き穴(尼ヶ淵側)**
石垣に設けられた穴が、現在は空室ですが、かつては水堀だったのかも知れません。
- 4** **二の丸堀のプラットフォーム跡**
昭和2年から昭和47年までけやき並木遊歩道には電車が通っていました。二の丸堀の下には公園前駅(旧公室家下駅)がありました。
- 5** **二の丸橋標柱**
顔文字のように見えますが、何を表現しているのでしょうか？
正解は「[2の丸]ハシ(この丸橋)」。詠みましたが？
- 6** **南櫓・北櫓**
明治11年までに移築され遊郭として利用されていましたが、昭和24年に現在の位置に復元されました。(写真は遊郭にあった当時のものです。)
- 7** **西虎口櫓門跡**
この凹(へこ)みは何でしょうか？
これは、櫓の梁を固定した凹みで、西虎口櫓門が存在していた証拠のひとつ。
- 8** **百間堀(野球場と陸上競技場)**
昭和2年、江戸時代に大きな増えただった場所に、地形を活かした運動場ができました。ふたつの施設は近代遺産としても知られています。
- 9** **平和の鐘**
善は、上田城下町の人々に時を知らせる「時報」として活用されていました。昭和9年、現在地に移築されました。

上田の観光情報は
こちら

うえだトリップ
なび

武将隊の
出陣予定は
こちら



「さなだつ、じょうゆうしっ!!」

「おめでなし武将隊」が城内の「ガイド」や記念写真の撮影にも気軽に応じています。

撮影の合言葉は

「おめでなし武将隊」

「ガイド」や記念写真の撮影にも気軽に

上田城

四百有余年の歴史

真田氏から今に伝わる





真田父子大森陣跡
（上田市立博物館蔵）

上田城

見どころ

案内

上田城は天正11年(1583)、真田昌幸によって築かれた平城で、上田盆地のほぼ中央に位置しています。堀と土塁で囲まれ、虎口(出入口)に石垣を使った簡素な城ですが、第一次、第二次上田合戦で徳川の大军を撃退し、天下にその名を轟かせました。数ある城郭のなかで、2度もの実戦経験を持ち、輝かしい戦果をあげた城は、全国でも他に例はありません。

しかし、上田城は関ヶ原の合戦後に破壊され、藩主であった真田信之も松代へ移封となりました。その後、小諸から入封した徳石氏により城は再興され、近世後半には松平氏の居城となります。

幕末には本丸に櫓門2基、櫓7基がありました。現在は櫓3基と櫓門1基をみることができます。また、城内には石垣や土塁が至る所に残されています。

真田氏からはじまり、幕末から400有余年、上田城は今もなお、訪れる人々を魅了しています。桜や新緑、紅葉など、美しい四季の移ろいとともに、戦国ロマンあふれる園内で、歴史探訪をぜひお楽しみください。

歴代上田城主

初代	真田昌幸 天正11年(1583)~1600)
二代	真田信之 慶長6年(1601)~1622)
三代	仙石忠政 元和8年(1622)~1628)
四代	仙石政俊 寛永5年(1628)~1669)
五代	仙石政明 寛文9年(1669)~1706)
六代	松平忠周 宝永3年(1706)~1728)

七代	松平忠堂 享保13年(1728)~1749)
八代	松平忠綱 寛延2年(1749)~1783)
九代	松平忠次 天明3年(1783)~1812)
十代	松平忠学 文化9年(1812)~1830)
十一代	松平忠徳(忠國) 天保元年(1830)~1859)
十二代	松平忠礼 安政6年~明治2年(1859)~1869)



堀と土塁(土塁)
上田城の堀は貫通して、掘りあげた土をその内側へ戻状に積み上げて土塁としている。



西櫓(泉室)

尼ヶ淵の河津段丘上に築かれた本丸馬場。外壁は楕円形(下丸形)とし、その上から軒の部分までを笠輪としている。これは幕末期の城に多くみられ、初明城郭建築の様式ともいわれる。また、格子窓に突き上げ口がついた「武者窓」や、天や鉾窓を収めたための小窓「矢倉窓」「新居技焼」も設けられている。



真田井戸

本丸唯一の井戸で、直径2m、深さは16.5mに達する。この井戸には抜け穴があり、城北の太郎山麓の菅や上田藩主居館に通じていたという伝説がある。

二の丸堀の水抜き石橋。元禄15年(1702)の修復の際に、木の橋から石の橋にがえた。百間堀となる雄上堀、抜堀にその出口がみえる。

野球場

小泉橋

二の丸堀跡

花水園

西櫓

急な階段

真田神社

真田井戸

西櫓

真田石

東虎口櫓門

北櫓

南櫓

芝生広場

尼ヶ淵

上田城跡

上田城跡駐車場

公園管理事務所

上田城跡南駐車場

バス専用

トイレ

身障者利用可

駐車場(有料)

駐車場

カフェ

おみやげ店

さくらんぼステーション

ルート

石橋
二の丸堀の水抜き石橋。元禄15年(1702)の修復の際に、木の橋から石の橋にがえた。百間堀となる雄上堀、抜堀にその出口がみえる。

野球場

小泉橋

二の丸堀跡

花水園

西櫓

急な階段

真田神社

真田井戸

西櫓

真田石

東虎口櫓門

北櫓

南櫓

芝生広場

尼ヶ淵

上田城跡

上田城跡駐車場

公園管理事務所

上田城跡南駐車場

バス専用

トイレ

身障者利用可

駐車場(有料)

駐車場

カフェ

おみやげ店

さくらんぼステーション

ルート

石橋
二の丸堀の水抜き石橋。元禄15年(1702)の修復の際に、木の橋から石の橋にがえた。百間堀となる雄上堀、抜堀にその出口がみえる。

野球場

小泉橋

二の丸堀跡

花水園

西櫓

急な階段

真田神社

真田井戸

西櫓

真田石

東虎口櫓門

北櫓

南櫓

芝生広場

尼ヶ淵

上田城跡

上田城跡駐車場

公園管理事務所

上田城跡南駐車場

バス専用

トイレ

身障者利用可

駐車場(有料)

駐車場

カフェ

おみやげ店

さくらんぼステーション

ルート

石橋
二の丸堀の水抜き石橋。元禄15年(1702)の修復の際に、木の橋から石の橋にがえた。百間堀となる雄上堀、抜堀にその出口がみえる。

野球場

小泉橋

二の丸堀跡

花水園

西櫓

急な階段

真田神社

真田井戸

西櫓

真田石

東虎口櫓門

北櫓

南櫓

芝生広場

尼ヶ淵

上田城跡

上田城跡駐車場

公園管理事務所

上田城跡南駐車場

バス専用

トイレ

身障者利用可

駐車場(有料)

駐車場

カフェ

おみやげ店

さくらんぼステーション

ルート

石橋
二の丸堀の水抜き石橋。元禄15年(1702)の修復の際に、木の橋から石の橋にがえた。百間堀となる雄上堀、抜堀にその出口がみえる。

野球場

小泉橋

二の丸堀跡

花水園

西櫓

急な階段

真田神社

真田井戸

西櫓

真田石

東虎口櫓門

北櫓

南櫓

芝生広場

尼ヶ淵

上田城跡

上田城跡駐車場

公園管理事務所

上田城跡南駐車場

バス専用

トイレ

身障者利用可

駐車場(有料)

駐車場

カフェ

おみやげ店

さくらんぼステーション

ルート

石橋
二の丸堀の水抜き石橋。元禄15年(1702)の修復の際に、木の橋から石の橋にがえた。百間堀となる雄上堀、抜堀にその出口がみえる。

野球場

小泉橋

二の丸堀跡

花水園

西櫓

急な階段

真田神社

真田井戸

西櫓

真田石

東虎口櫓門

北櫓

南櫓

芝生広場

尼ヶ淵

上田城跡

上田城跡駐車場

公園管理事務所

上田城跡南駐車場

バス専用

トイレ

身障者利用可

駐車場(有料)

駐車場

カフェ

おみやげ店

さくらんぼステーション

ルート

石橋
二の丸堀の水抜き石橋。元禄15年(1702)の修復の際に、木の橋から石の橋にがえた。百間堀となる雄上堀、抜堀にその出口がみえる。

野球場

小泉橋

二の丸堀跡

花水園

西櫓

急な階段

真田神社

真田井戸

西櫓

真田石

東虎口櫓門

北櫓

南櫓

芝生広場

尼ヶ淵

上田城跡

上田城跡駐車場

公園管理事務所

上田城跡南駐車場

バス専用

トイレ

身障者利用可

駐車場(有料)

駐車場

カフェ

おみやげ店

さくらんぼステーション

ルート



上田市立博物館
真田氏をはじめ歴代藩主の資料や上田地方の歴史・民俗・自然資料を収蔵・展示。国の重要文化財「真田信玄所用陣頭鎧」「国友輝兵衛作安形笠置櫓」等も所蔵。



上田城跡(内部)
櫓門・北櫓の内部を見学できます。

上田市立博物館	一般 300円
共通券	一般 500円

開館時間 9:00~17:00
休館日 水曜日(祝日にある場合はその翌日)・祝日の翌日
TEL:0266-22-1274



上田市観光会館
観光コーナーが併設された1階の売店は、上田みやげを多数販売。2階は休憩スペースを設けた観光案内所。

1階 売店・喫茶	営業時間 9:30~18:00
2階 無料休憩所・観光案内所	営業時間 9:00~19:00

※営業の情報は2024年6月現在のものです。